

●今月の法語カレンダー●
弥陀の願力は 生死大海の
おおきなふね いかだなり

仏教における三つの宝物を「仏法僧」とし、仏教徒としての拠りどころとしています。「仏法僧」とは、仏さま、その説かれる真理、そしてサンガといわれる出家僧の仲間です。私たちは悪いことでも、なかなか止められません。そうではないでしよう。浄土真宗が属する大乘仏教は仏様のおおきなふねに乗って、みんなが救われる道を読みます。思い通りにならない自分だからこそ、三宝にも上げられるように仲間がともな大切なのです。お念仏の仲間は、ともに仏様の救いのふねに乗る仲間です。ご縁に感謝をし、生涯の宝として大切にしたいものです。

日帰り旅行の
お知らせ



天真寺門信徒会恒例の旅行です。この度は10月に日帰旅行を計画いたしました。ぜひご参加ください。お知らせいたします。行き先は紅葉の那須高原です。秘湯・北温泉でゆっ

たりしませんか。送迎は天真寺まで、貸し切りバスなので、ご安心下さい。参加受付中です！

【日時】 10月13日(水)
【費用】 1万円以内
【人数】 25人

皆さんで親睦を深め、楽しい旅行にしましょう。



9月の予定

- 4日(土)午前10時 納骨堂合同参拝
- 5日(日)午前7時 朝の日曜礼拝
- 5日(日)午前8時 抹茶を楽しむ会
- 7日(火)午後2時 踊り教室
- 8日(水)午後12時半 ヨーガ教室
- 8日(水)午後1時半 囲碁クラブ
- 10日(金)午後1時半 れんげ会(婦人会)
- 仏教讃歌を歌いましょう♪
- 【指導】高森先生・竹内先生
- 11日(土)午後2時 グランドゴルフ(駐車場)
- 11日(土)午後3時 壮年会「納涼会」
- 12日(日)午前7時 朝の日曜礼拝
- 18日(土)午後12時 千鳥ヶ淵戦没者追悼法要
- ご自由にお参り下さい

秋季彼岸法要のご案内

暑さ寒さも彼岸まで。猛暑だった夏が過ぎ、やっと涼やかになりました。今月は秋のお彼岸を迎えます。お彼岸は日本独自の仏教行事で、春分の日と秋分の日の前後一週間をいいます。昔の方は、ゆっくり沈む夕日を眺めて、仏さまのいらっしゃる西方浄土を味わったのでしょ。過ごしやすい季節となるからこそ、雑念を治め、心静かに手を合わせる時間を大切にしたいものです。

亡き方々のお導きにあう大切な法要です。遺された私たちが今を生きられる意味、そしてそのいのちを、今一度しっかり見直しましょう。お法りに照らされた自らの生活を省みるご縁です。ぜひお参り下さい。予約等は必要ありませんので、当日ご自由にお越し下さい。皆さまのご参詣をお待ちしております。

9月23日(木) 秋分の日

午後1時半～3時半

お参り・法話・茶話会

【講師】西原祐治師(柏市西方寺住職)

講師紹介：即如門主随行講師などを経て、現在、東京仏教学院講師
龍谷大学大学院非常勤講師。

著書：浄土真宗の常識・親鸞物語-泥中の蓮花・仏さまの三十二相他多数

お参りには、お念珠・門徒式章(お持ちの方のみ)をお忘れなく・・・。

また役員の皆様には、12時にお集まり下さい。お手伝いいただきたく、お願い申し上げます。

「囲碁クラブ」

誕生しました!



囲碁は手談ともいわれ、お互いの主張を問う楽しいゲームで、頭の体操にピッタリです。中高年からでも強くなれます。また初めての方には、丁寧に指導いたします。どうぞご参加下さい。お待ちしております。

対局日(指導日)は
天真寺にて9月より
毎月第2・4水曜日
午後1時半より

また使わない碁盤・碁石がありましたら、ご寄付をお願いいたします。

天真寺寺子屋

壮年会 婦人会
ヨーガ 踊り グランドゴルフ
ふれあい農園などなど

興味があれば、まずは見学からどうぞ♪お仲間を作って、楽しくお参りして下さい!

「ブータンを旅して… あなたは今幸せですか」

ブータンは、ヒマラヤ山脈の麓に位置する人口約70万人、国土は九州より少し大きいくらい山の山岳国である。長い間鎖国状態だったため独自の文化が守られ、仏教を国教として国作りをしている。「世界最後の桃源郷」ともいわれるように、そこに居るだけで時間が止まったような安らぎを覚える不思議なところだ。



そんな小さな国が世界中の注目を集めている。それは1976年にブータン国王が提唱した、「国民総幸福量（GNH, Gross National Happiness）」を増やそうという政策。「国民総生産（GNP, Gross National Product）」ではかられる物質的・金銭的なものを求めるのではなく、人間本来の精神的な豊かさを目指している。

調査によると、ブータンの国民は95%が幸せを感じているという。私も今回の旅にて、秘境の風景ともに、そんな人々との触れ合いを楽しみにしていた。実際に出会った人々に聞いてみた、「あなたは幸せですか」と。すると何の躊躇もなく、ほぼみんなが笑顔で「幸せです」と答えられた。

この旅で忘れられない思い出がある。それは、一軒のお店を訪ねた時のこと。

道端で一人の女性との立ち話で、私が僧侶だと名乗ると、「私の父もお坊さんです」と話が弾み、「どうぞ、どうぞ」とお店の中に案内された。そこはその女性が一人で営業している、小さなレストラン。お金を持っていないかった私は「NO MONEY」（お金を持っていません）と繰り返したが、「OK, OK」と促され席に座った。すると、その女性が

ブータン名物の焼きそばを、「食べて下さい」と出してくれた。初対面の私に食事を提供してくれる優しさに感動すると共に、私はゾツとした。なぜなら、それはさっきまで真っ黒に蠅がたかっていた料理だったからである。「いただきます」と言いながらも、残そうか？ 食べようか？ お腹を壊さないだろうかと心の中では葛藤が渦巻いていた。しかし食事を下さった心をおい、有り難く焼きそばを頂いた。



↑パロの町で会った6歳の少年
子どもらしくて、いい笑顔★

その時、お釈迦様の事が思い出された。インドの郊外で遊行中に、鍛冶屋の息子チュンダからキノコ料理をお布施された。しかしそれを食したお釈迦様は、下血し体調を崩した。お釈迦様は苦しみながらも、アーナンダに告げた。「私にとつてこの生涯で二つの尊い供養の食事があった。一つは苦行をやめた時に村娘が施してくれた乳粥。そしてもう一つはチュンダが施してくれた食事である」と。自らの死後、チュンダが非難を受けないようにとの思いから、命をかけて法を説き続けた。

当時のインドである。冷蔵庫はもろろんない。もしかしたら施されたキノコが腐っていたのかもしれない。またお釈迦様はそれを承知で食したのかもしれない。それでもお布施をしてくれた人に合掌をして、施され

たものをそのまま頂く。それは、頂いたものに対してだけではなく、その背後にある因縁や恵みに感謝しての行いである。

仏教では「縁起」を説く。そこから、さまざまに関わり合いの中で生きていく私の姿が見えてくる。ブータンの人たちは一人一台テレビがあることが幸せではない、いつでも冷たい飲み物が飲めることが幸せではないことを知っている。人と人が助け合い、支え合っていく中に「しあわせ」を感じる。目に見えないものにこそ、本当の価値があることを教えてもらった旅であった。（若住職龍哉）

活動報告

★「お盆法要」厳修

本年度より日を増やして法要を営みました。本堂満堂で多くの方々にご参拝い

ただき、亡き方のご縁の深さを思いました。また両日にわたり暑い中をお手伝い下さった役員の皆様には、お礼申し上げます。なお講師が体調不良により変更となりましたこと、お詫び申し上げます。



★流しそつめんで大喜び

第3回目となる子ども会が終りました。今年の新企画、盆踊り、歌の時間、流しそつめんも大人気となりました。参加の子どもたちにとつて、夏休みのいい思い出になったでしょう。また来年も参加を待っています！



お寺の詳細な活動はホームページ「天真寺日記」でぜひチェックしてください！

天ちゃんの一言



にぎやかなお寺の夏が終わりました。秋となると旅行シーズン。門信徒日帰り旅行が楽しみです。また千葉組仏教壮年会の旅行も開催されます。親鸞聖人ゆかりの茨城を巡ります。学びの場、お念仏の仲間との出会いの場として、どうぞご参加下さい。詳しくはお寺へ。

【日時】 9月25日～30日

【会費】 ¥210000

【申込】 9月5日(日) まで

門信徒会入会のご案内
どなたでも入会いただけます。毎月、寺報と仏教冊子をお送りします。年会費3千円。

（発行元）

浄土真宗本願寺派 天真寺

千葉県松戸市金ヶ作106

047-389-0808

【ホームページ】

<http://www.tenshin.or.jp>

天真寺の墓地 「大町やすらぎパーク」

北総線「大町」駅から徒歩3分の好立地です。ご希望の方は、お気軽にご相談下さい。



「永代合葬墓」 完成しました！

やすらぎ堂



大町やすらぎパーク内
納骨懇志20万円から

あんのん堂



京都・大谷本廟内
納骨懇志30万円から

永代にわたり天真寺が護持いたします。以後の管理料等は一切かかりません。お念仏の心を次の世代に伝える依りどころとして…。跡継ぎがない方には、安心をかたちにして…。

